

# 敗北魔王

女学生×ゴブリン





幼い頃、母から  
聞かされた

魔物の話が  
怖かった

最も身近で  
最も弱いとされる  
小鬼という魔物ですら

男を殺して食べる  
女を犯して増える

躰けのため…  
とはいえ聞かされた  
話の衝撃は大きくて

酷く泣いたのを  
覚えている

それから十数年  
王立魔導学院

…え？  
小鬼？

学院生がやる  
仕事ではない  
のでは…？

発見数が  
急増した  
とかで  
冒険者の手が  
足りないらしい  
んだよね

はあ…

内申も考慮する  
って先生  
言ってたし

ね？  
どうかな！

ええと…

まあ…  
構いま  
せんが…

よかったー！  
助かるよ！

勧誘ノルマ  
達成！

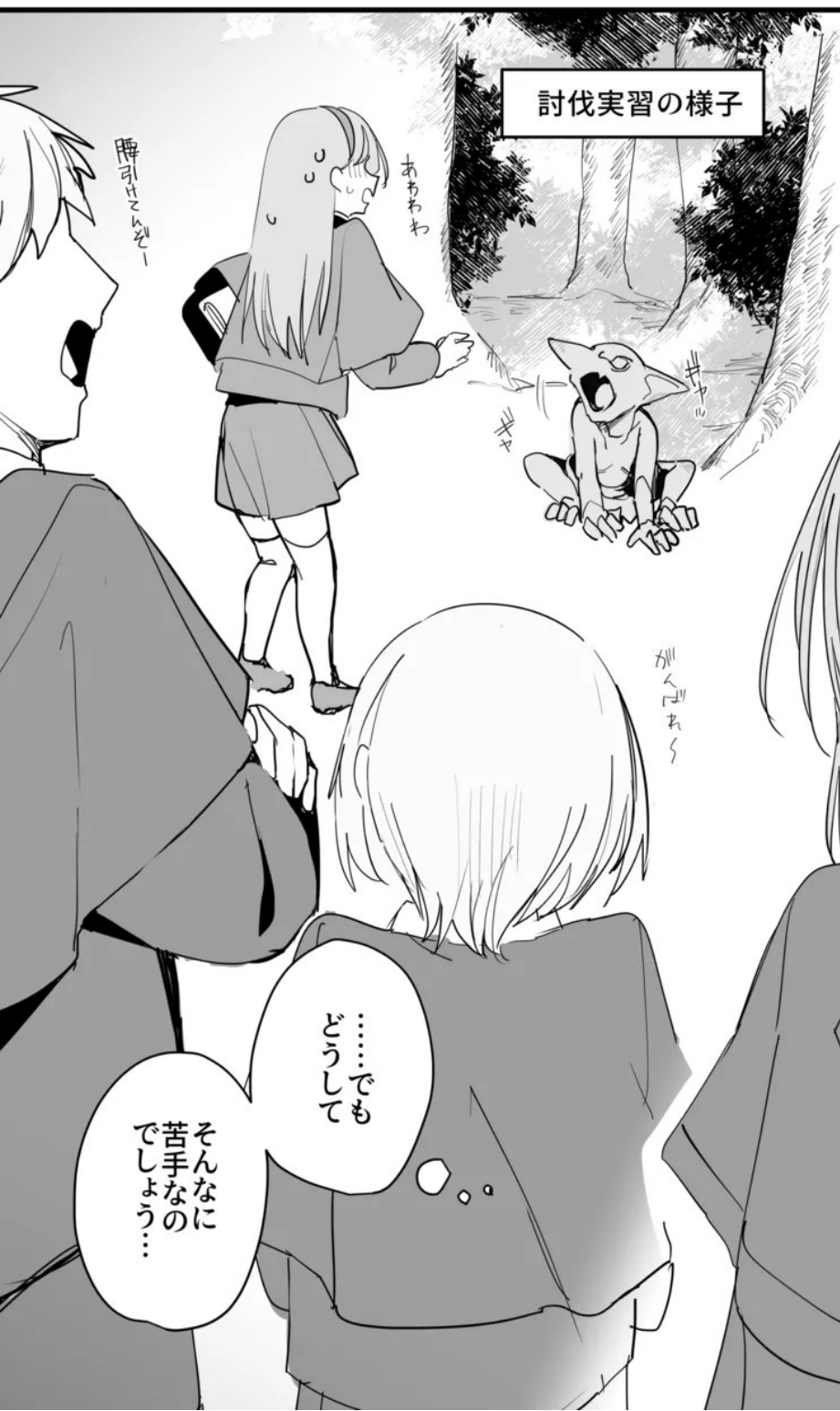
担当は地域単位  
みたいだから  
パーティもない  
らしいけど  
一緒に  
頑張ろうね！

え？

え？  
えー…っ

索敵して  
討伐を…  
独りで…？

そ…





彼らのような  
小さくて、弱い魔物に敗北するなんて...

考えにくいことなの.....

えんて...



あッ

...って、本当に！  
そんなこと...!!  
ありえません！



そう、そんな妙なことはない  
なりません

小鬼相手に  
なんて、絶対に！

手すきの学生に  
割り振られるような  
仕事ですし

そんな難易度とはいえ  
クエストです……！  
しつかりしなさい……！

余計な：  
ありえない仮定ばかり  
考えてしまう……

この悪癖は  
一生ついて回るのかも……

そう考えると  
少し憂鬱ですね……

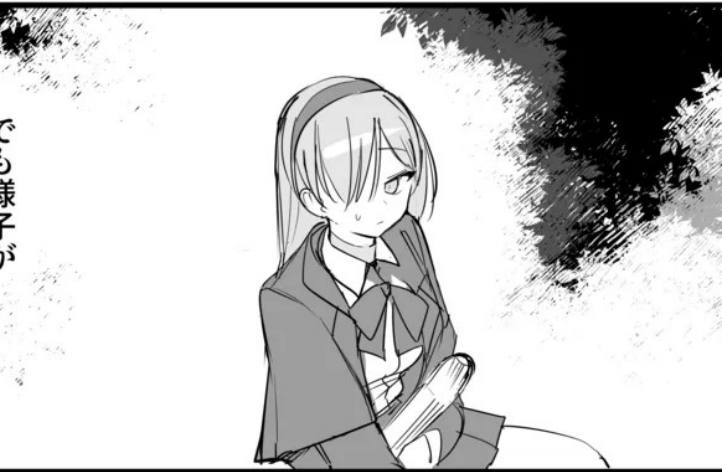




…十を超える規模の  
群れがこんなにあっさり  
見つかるなんて



でも様子が  
おかしいような…



まさか…  
瘦せていて小柄な個体を  
淘汰出来る規模にまで…?



争っている…?

いえ…  
虐めているのかな…

確かに増えて  
いるようですね…

魔物退治も  
魔導士の  
義務です…!!

ちゃんと  
お仕事しないと  
いけませんね…!!

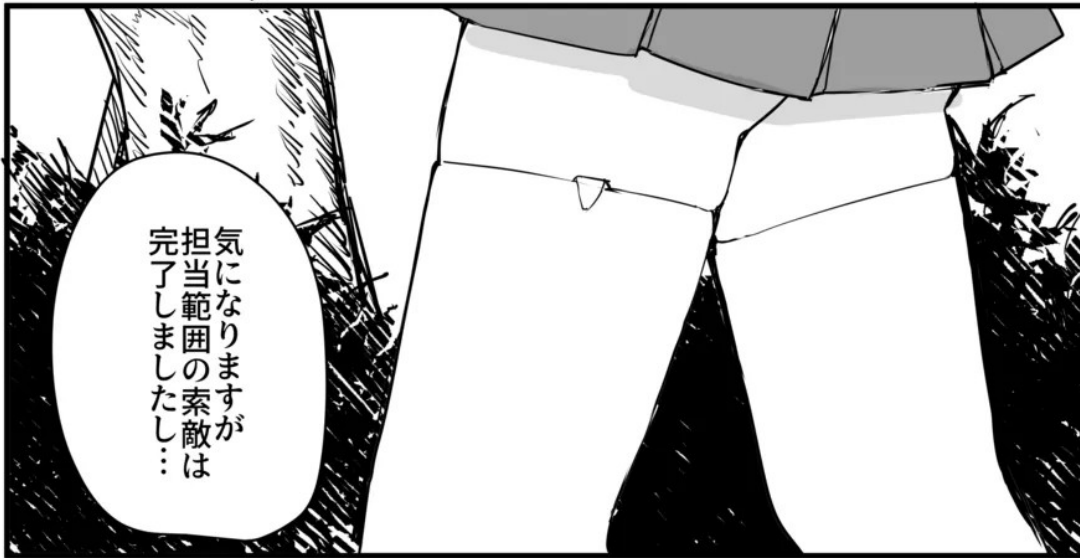
ふう…



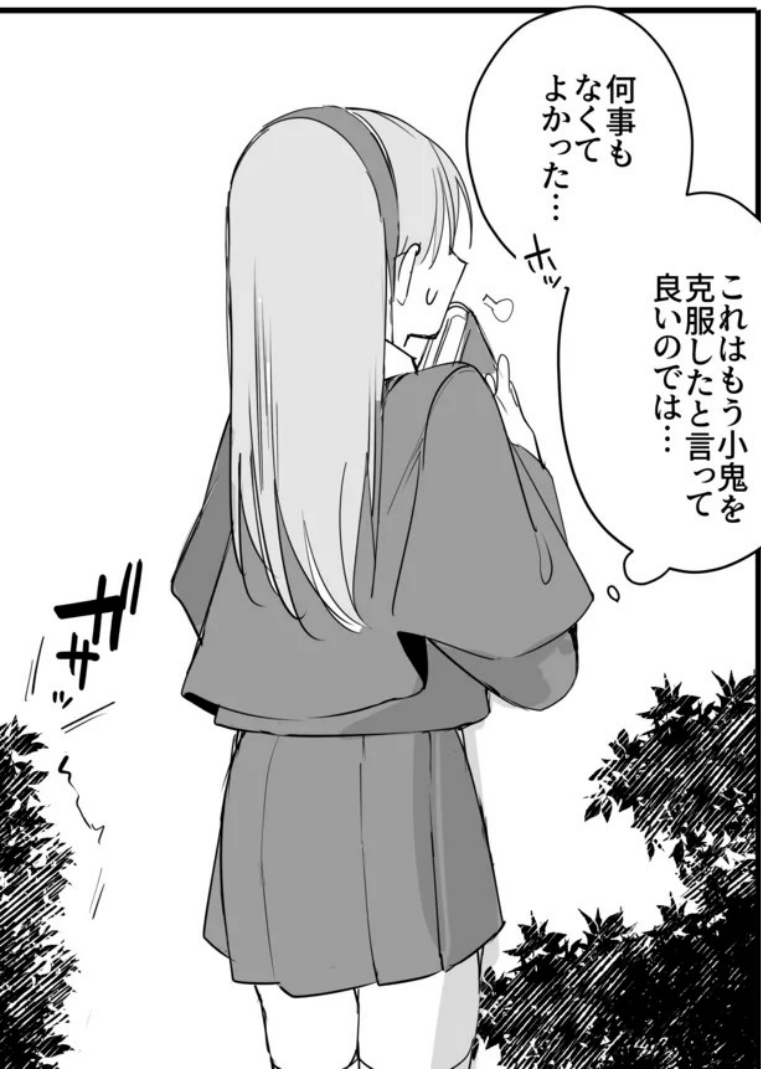


間引き自体は  
簡単に  
済みましたが…

でも結局  
何が原因  
なんでしょうか…？



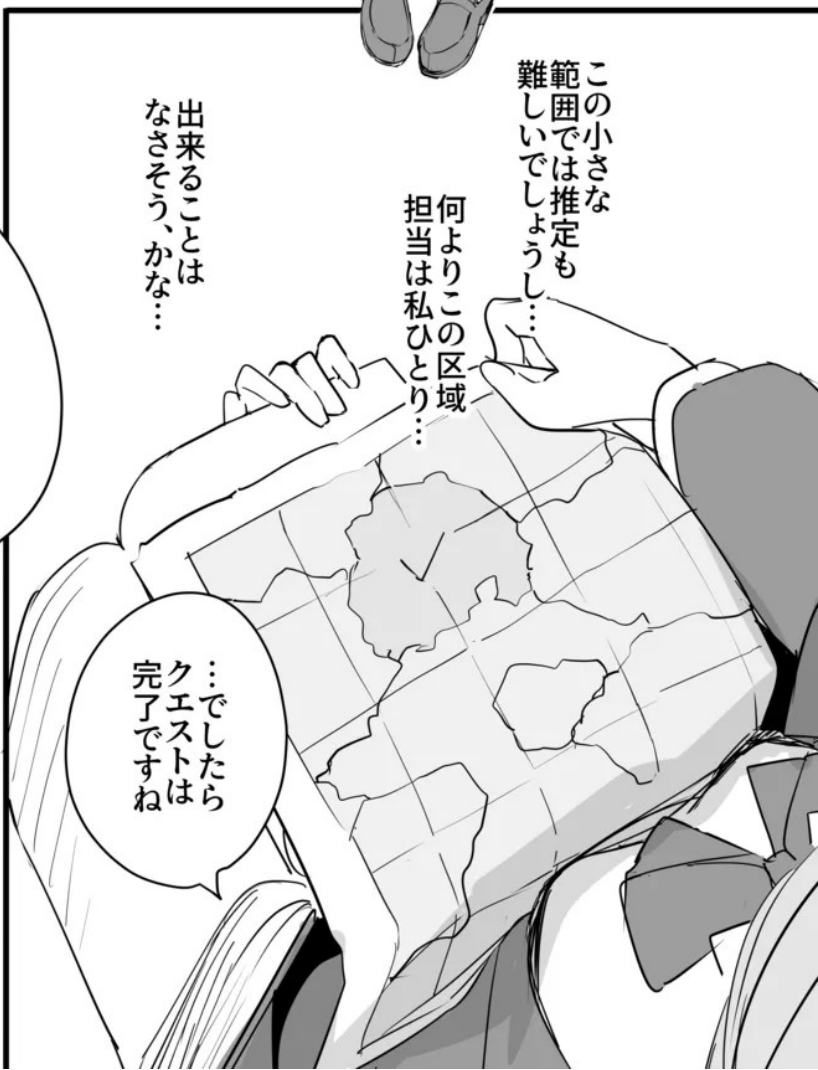
気になります  
担当範囲の  
索敵は  
完了しましたし…



何事も  
なくて  
よかった…

ホッ

これはもう小鬼を  
克服したと言って  
良いのでは…



この小さな  
範囲では推定も  
難しいでしょうし…

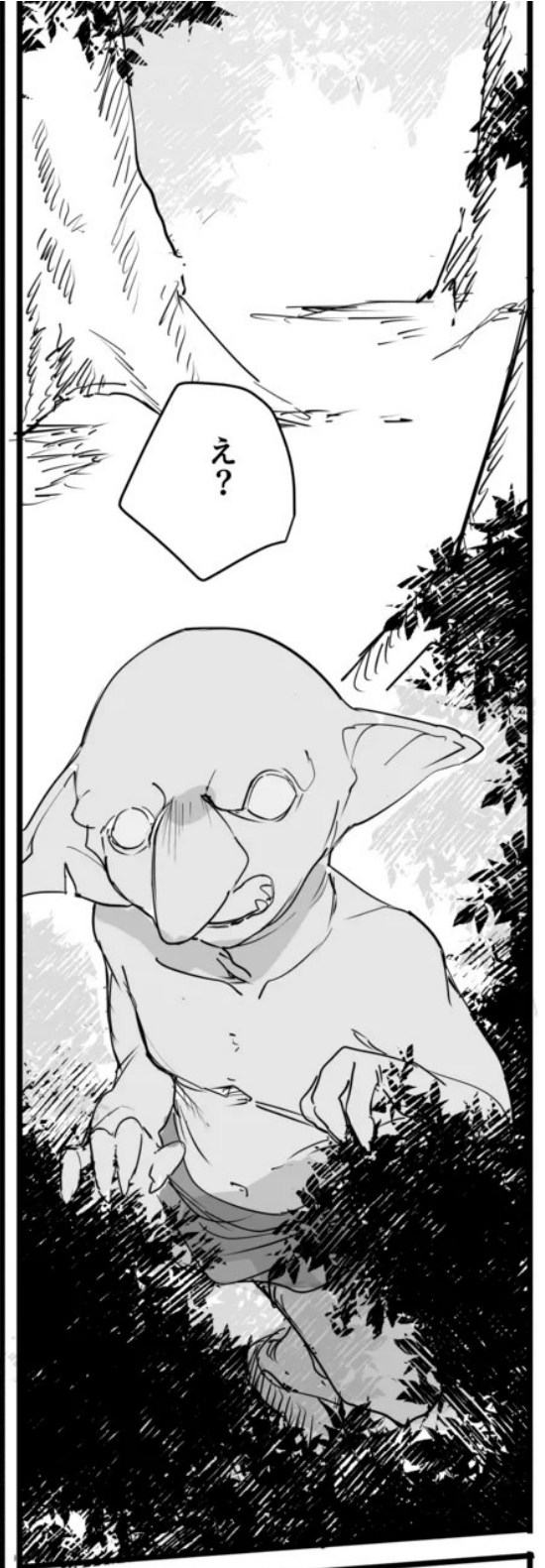
何よりこの区域  
担当は私ひとり…

出来ることは  
なさそう、かな…

…でしたら  
クエストは  
完了ですね



あ...



え？



うわっ...!(小声)





笑った...?

どうして...?



私のことを...

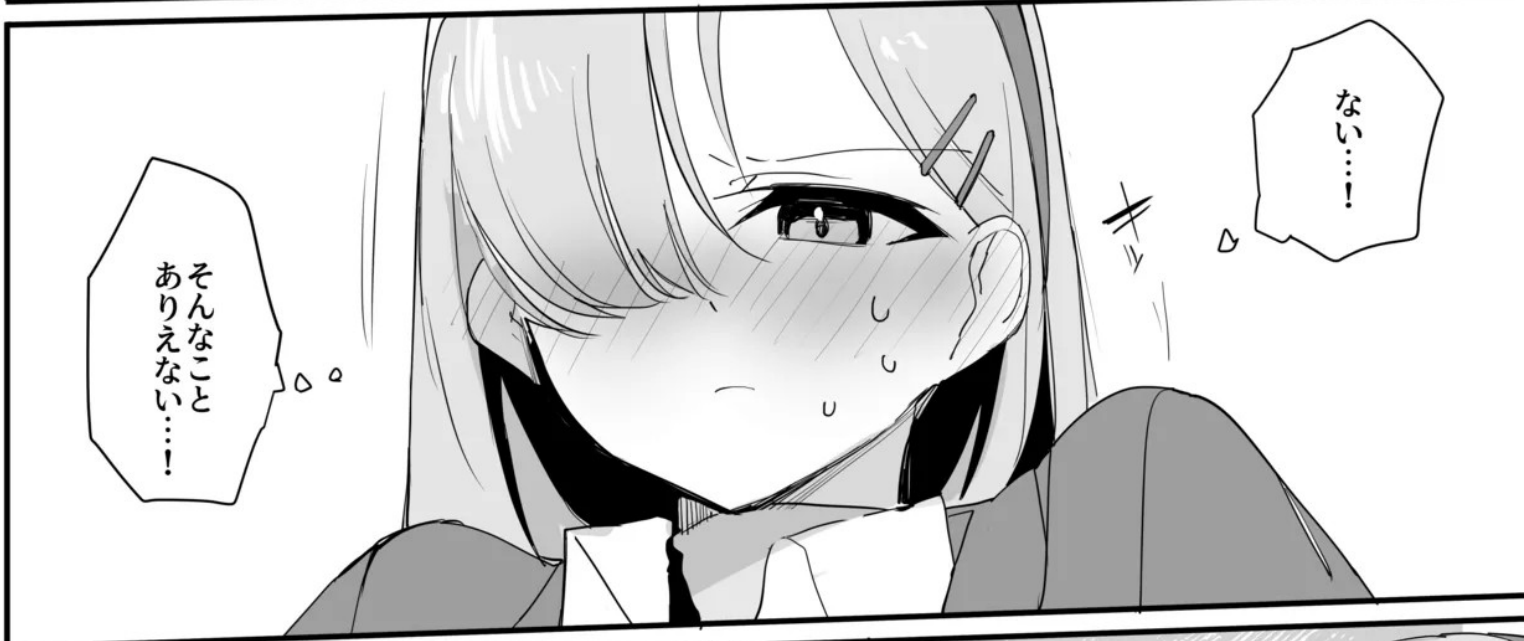
組み敷かれれば抵抗できない女にでも、見えてくるの...?

そんなこと...



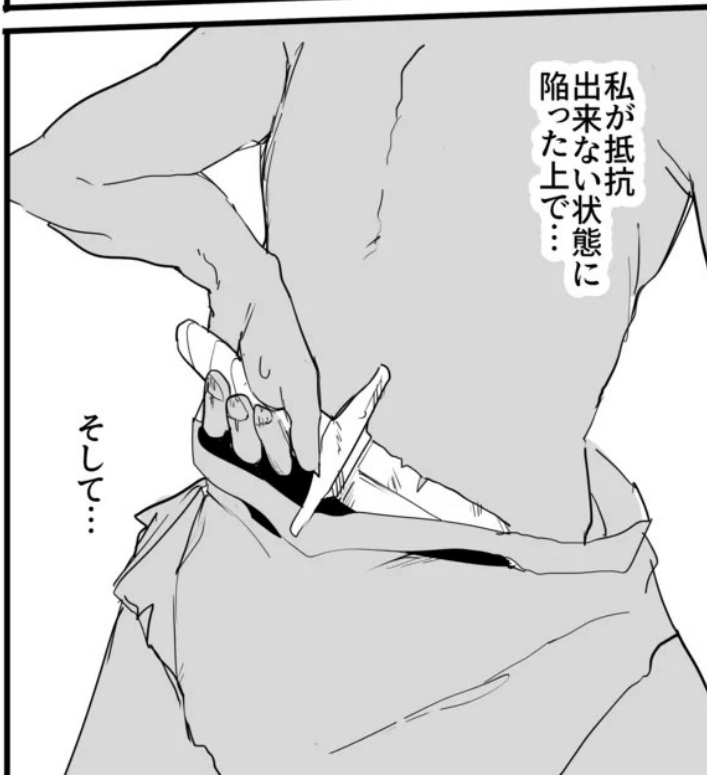
誰にも見つかることもない…  
この森の中でなら……?!

ハッ…



そんなこと  
ありえない…!

ない…!



私が抵抗  
出来ない状態に  
陥った上で…

そして…



もし彼が  
武器を隠し  
持っていたり…



自分から

望みでも  
しない限り……

あ……っ



私がそれを……





あ…  
あの…



身体なら…  
好きにして…  
いいですから……

だから…  
こんなことをしても…  
何も…問題は……



武器を…  
仕舞ってください…

別に、いつだって…  
抵抗、できる

魔導書…  
魔法の発動体を  
取り返すまでの  
一時的な時間稼ぎ…

ない…はず…♡

あ、あんまり  
臭がないで…

気付かれ  
ている…

緊張で汗ばんでいる  
だけではないで…

期待している  
女の臭い…







地面に押し付けられると…  
逃げ場が…無…

あ……

ん……

ん……



私…飲んだの…？

小鬼の…魔物の…動物のそれを…  
自分の意志で…？  
胃が、下腹部が…  
熱くて…



我慢、できない…





……もしかして

挿れられないの…？



なのよ...



これなら、  
一番拙い事態は  
避けられそう...



下着すら  
剥がせない...

知能も低い  
個体だった  
なんて...



これで.....

挿入られる  
でしょ？



本気？  
私.....

あつり挿っ…

私に…

小鬼の  
性器が…

押し入ってくる…



ああ：  
挿入れさせて  
しまった：

小さいのに…  
熱くて…  
固…っ

やっ  
待って♡

まだ…  
♡…

気持ちいい…っ♡





群れからも  
捨てられる…

女の下着を  
力任せに破り捨てる  
ことすらできない…

そんな弱い  
魔物に…

自分から  
武器を  
捨てて…

差し出すように  
犯されるなんて…



もしかしたら  
私は...あの頃から...

ちやっ♡

ずっとこう  
なりたかったかも...

おっぱい  
おっぱい  
おっぱい





はあ……  
はあ……

あ……

はあ

はあ

このままには、  
……しておけない  
……かな……

はあ

はあ

……



あ……

良かった  
少し元気に  
なってみた

ごめんなさい  
遅くなっちゃって……



肉の他にも  
果物とか

幾らか  
持ってきた  
けど……



どう……？  
食べられる……？

わっ



ちゃんと  
ご奉仕、しますから…



気に入った…？

あわわ  
って



わ、分かった  
分かりました、から…



